

三木町就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会

第4回会議議事概要

- 1 日 時 令和2年6月23日（火）
- 2 開 会 午後2時00分
- 3 閉 会 午後4時00分
- 4 場 所 三木町防災センター 3階 大ホール
- 5 出席者（委員）津山勝義、阿野秋子、杉山恵子、石濱敏男、上岡佳代、
山地茂之、穴吹直子、吉原照代、久米美佳、高松和範、馬場正光
伊藤町長、森教育長（事務局）こども課：美馬一生、塩津利幸、
宮武尚美、大下美幸、安西美香、道官丈晴、内田博子
- 6 会議経過
 - (1) 開会
 - (2) 委嘱状の交付
 - (3) 町長あいさつ
 - (4) 委員の紹介
 - (5) 議事
 - ① 中間答申（案）について

資料1において、就学前児童数の緩やかな減少傾向と幼稚園・保育所における利用児童のアンバランスな現状を確認するとともに、資料2、3及び4において、下高岡保育所が分園式認定こども園化によって3歳未満児10名程度の新たな受け皿の確保と効率的な保育士の配置が可能となり、待機児童解消に向けた効果が見込めること確認した。また、内閣府のホームページで公表されている資料「認定こども園に関する状況について（平成31年4月1日現在）」から、全国的にも、また香川県内においても近年認定こども園の整備が進んでいることを理解するとともに、資料5において、認定こども園化に向けて必要となる事項について確認し、中間答申（案）についての検討を行った。各委員から出された意見等の主な内容は下記のとおり。

 - ・特別な支援や配慮を必要とする子どもたちについての対応を考慮し、適切な職員配置や環境整備が必要である。
 - ・公立保育所の入所児童と就学する小学校区が一致していないことについては、入学する小学校と円滑な接続ができる連携体制が整っている

ので現状として課題とはなっていない。ただし、山間部に立地する公立保育所については、就労する保護者の送迎への負担となっていると思われる。

② その他

次回の委員会の開催予定は8月を予定。

7 配布資料

- ・三木町就学前の子どもの教育・保育のあり方検討委員会委員名簿
- ・【資料1】就学前の児童数の推移（各年4月1日現在）等
- ・【資料2】現時点における下高岡保育所の令和3年4月入所の児童見込数
- ・【資料3】認定こども園化に伴う令和3年4月における下高岡保育所の3歳未満児受入可能児童数
- ・【資料4】神山保育所の地区別児童数（令和2年4月時点）
- ・認定こども園に関する状況について（平成31年4月1日）
- ・【資料5】認定こども園化に向けたスケジュール案
- ・中間答申（案）

以上